

- 社会医学系専門医・指導医の更新手続きについて
- 「第34回日本疫学会学術総会」のご報告
- 「第29回日本災害医学会総会・学術集会」のご報告
- 「第94回日本衛生学会学術総会」のご報告
- 「第97回日本産業衛生学会」のご案内
- 「第28回日本医療情報学会春季学術大会」のご案内
- 「ACP Japan Chapter 年次総会・講演会」合同シンポジウムについて
- 事務局からのお知らせ

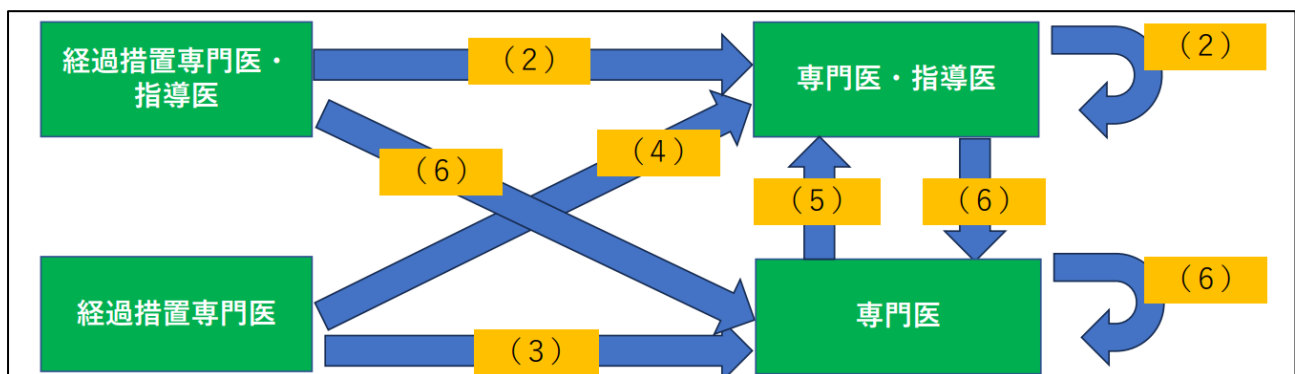
社会医学系専門医・指導医の更新手続きについて



専門医・指導医認定委員会 委員長 前田光哉

本稿では、社会医学系専門医・指導医の更新手続きを解説します。更新要件は、少々複雑ではございますが、更新がまだの方におかれましては、期限内に必要な書類を整えて、更新手続きをしていただきますよう、お願いいたします。なお、「専門医・指導医」と記載している箇所につきましては、一般的に「指導医」と呼ばれているものでございます。

1. 更新要件



- (1) 共通事項（経過措置専門医・指導医、経過措置専門医、専門医に共通）
- ①社会医学系専門医協会構成 8 学会のいずれかに加入し、学会員を継続
 - ②社会医学系専門医協会の年間登録料を 5 年間、中断なく納めている
 - ③社会医学系活動を 5 年間継続している（常勤・非常勤を問わない）
 - ④社会医学系分野での活動実績が 5 年間に 2 項目で申告の記載がある
 - ⑤更新単位（K単位 10 単位、G単位 10 単位）を受講証明書等で確認
 - ・ K単位 10 単位のうち、医療倫理・感染対策・医療安全は各 1 単位以上
 - ・ G単位 10 単位のうち、構成学会の年次総会等への参加 3 回以上、かつ鍵となる学会の年次総会への参加 2 回以上(単位は認定期間内の受講、参加が有効)
- (2) 経過措置専門医・指導医の更新、専門医・指導医の更新（共通事項に加え）
- ①構成学会・団体主催の「指導医講習会」を認定期間内に 2 回以上受講
- (3) 経過措置専門医の更新（共通事項に加え）
- ①基本プログラム（7 科目×7 時間）49 時間を受講
- (4) 経過措置専門医の更新時に指導医の申請（共通事項に加え）
- ①基本プログラム（7 科目×7 時間）49 時間を受講していること
 - ②構成学会・団体主催の「指導医講習会」を認定期間内に 2 回以上受講
 - ③専門医と認定されてから、協会構成学会の年次総会での発表歴（口演で筆頭のみ）、ポスター発表（筆頭のみ）、座長、シンポジスト（発表者のみ）、教育講演の演者など、または論文掲載（筆頭のみ）
- (5) 専門医の更新時に指導医の申請（共通事項に加え）
- ①構成学会・団体主催の「指導医講習会」を認定期間内に 2 回以上受講
 - ②専門医と認定されてから、協会構成学会の年次総会での発表歴（口演で筆頭のみ）、ポスター発表（筆頭のみ）、座長、シンポジスト（発表者のみ）、教育講演の演者など、または論文掲載（筆頭のみ）
- (6) 経過措置専門医・指導医、専門医・指導医、専門医が専門医のみの更新
- (1) 共通事項のみ

2. 2023 年度の更新状況

鍵となる学会名	対象	更新申請	延長・休会	辞退	未反応
日本医療・病院管理学会	32	6	0	1	25
日本医療情報学会	30	2	1	0	27
日本衛生学会	19	1	0	0	18
日本疫学会	49	8	6	0	35
日本公衆衛生学会	290	59	26	2	203
日本災害医学会	122	17	8	0	97
日本産業衛生学会	199	48	21	1	129
日本職業・災害医学会	79	3	3	0	73
計	820 (100%)	144 (18%)	65 (8%)	4 (0%)	607 (74%)

3. 社会医学系専門医協会の対応状況

(1) 更新可とされた方

- 事務局より、「専門医・指導医の更新審査の結果について」（合格者用）に氏名、登録番号を記載して、「社会医学系専門医の認定登録（認定証の交付）手続きについて」、社会医学系専門医登録申請書を添付して郵送しました。
- 登録申請書の提出および入金を確認できれば、順次、認定証を郵送いたします。
- 都道府県、氏名、専門医／指導医の区分、「更新済」を協会 Web サイト上に公表します。

(2) 保留とされた方

- 事務局より、満たしていない項目、不足している書類を本人に伝達しました。
- 事務局より、「専門医・指導医の更新審査の結果について」（保留者用）を郵送しました。
- 上記の通知には、①追加資料を 2025 年 3 月 31 日までに提出することを求める、②第 1 次締切を 5 月 31 日とする、③不足していた単位については、2024 年 4 月以降に取得したのも認めることを付記しました。
- 都道府県、氏名、専門医／指導医の区分、「更新保留」を協会 Web サイト上に公表します。
- 追加で事務局に届いた資料を事務局で審査し、更新可能と判断された事例については、「専門医・指導医の更新審査の結果について」（合格者用）に氏名、登録番号を記載して、「社会医学系専門医の認定登録（認定証の交付）手続きについて」、社会医学系専門医登録申請書を添付して郵送します。
- 登録申請書の提出および入金を確認できれば、順次、認定証を郵送します。

(3) 更新延長を申請された方

- 事務局より、本年 6 月頃に「専門医・指導医の更新について（更新手続き・今後のスケジュールのご案内）」が協会 Web サイトに掲載された旨をメールで通知します。

- その際に、2024 年度に更新申請をする場合は、以下の金額になることを通知します。
 - 2017 年度に専門医・指導医を取得された方 審査料 15,840 円 (消費税込)
 - 2018 年度に専門医・指導医を取得された方 審査料 13,860 円 (消費税込)
 - 2019 年度に専門医・指導医を取得された方 審査料 11,880 円 (消費税込)
- 都道府県、氏名、専門医／指導医の区分、「更新延長」を協会 Web サイト上に公表します。
- 更新申請の期限は、2024 年 11 月 30 日とします。(予定)

(4) 登録辞退された方

- 2024 年 3 月 31 日をもって、専門医・指導医の認定は失効しました。
- 都道府県、氏名、専門医／指導医の区分を協会 Web サイトから削除します。

(5) 未反応の方

- 事務局より、毎年度、登録料 (年間 5,000 円) の督促を行います。
- 必要に応じて、往復はがき又は電話による意向確認を行います。
- 更新申請が行われた場合は、「更新延長申請者」と同様の取扱いとし、審査料 (消費税込) は 9,900 円 + 1,980 円 × (延長年数) として、最長 3 年間、申請を受け付けます。
- 「都道府県」、「氏名」、「専門医／指導医の区分」、「その他」を協会 Web サイト上に公表します。
 - 2017 年度に専門医・指導医を取得された方
 - ◇ 2025 年 3 月 31 日の時点で反応がない場合は、都道府県、氏名、専門医／指導医の区分を協会 Web サイトから削除する。
 - 2018 年度に専門医・指導医を取得された方
 - ◇ 2026 年 3 月 31 日の時点で反応がない場合は、都道府県、氏名、専門医／指導医の区分を協会 Web サイトから削除する。
 - 2019 年度に専門医・指導医を取得された方
 - ◇ 2027 年 3 月 31 日の時点で反応がない場合は、都道府県、氏名、専門医／指導医の区分を協会 Web サイトから削除する。

4. K 単位が不足している方へ

- 社会医学系 E ラーニング (<https://elr.jp/e-phgakkai/>) では、共通講習、指導医講習及び基本プログラムのコンテンツが視聴できます。
- 基本プログラムは専攻医または経過措置専門医のために作成されたものですが、経過措置専門医・指導医、専門医・指導医または専門医の生涯学習にも適した内容となっており、視聴により得られた単位は K 単位として更新申請に活用できます。
- 基本プログラムは公衆衛生総論、保健医療政策、疫学・医学統計学、行動科学、組織経営・管理、健康危機管理、環境・産業保健の 7 項目から構成されており、それぞれ 7 コマの講義が収録されています。
- 経過措置専門医・指導医、専門医・指導医、専門医の方が全てを視聴した場合には、K 単位の 49 単位としてカウントできます。

第34回日本疫学会学術総会のご報告



第34回日本疫学会学術総会 会長
 滋賀医科大学 NCD 疫学研究センター センター長
 三浦 克之

第34回日本疫学会学術総会を2024（令和6）年1月31日（水）～2月2日（金）の3日間にわたり滋賀県大津市のびわ湖大津プリンスホテルにて開催し、大過なく終了することができました。さらに主要プログラムのオンデマンド配信は3月末まで実施しました。

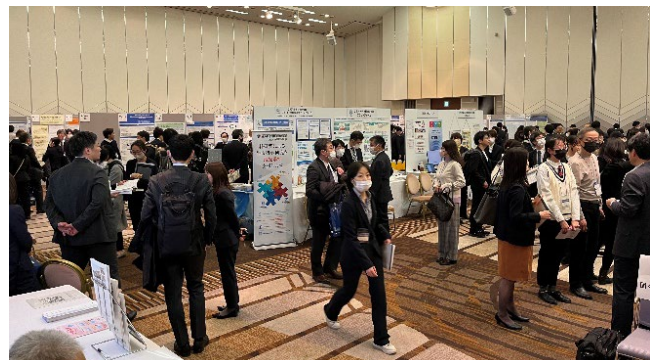
総会には1860人が参加登録され、そのうち1000人を超える皆様に大津にお越しいただき現地参加いただきました。遠いところをお越しいただきありがとうございました。会場前に広がる琵琶湖の景色を楽しんでいただけたと思います。また、リアルにお会いいただいて親睦を深めるとともに、有意義な議論をしていただけたかと思います。

本学術総会のメインテーマは「疫学が創る未来社会」とし、これからの世界と日本の未来社会を創っていく上で疫学がどのような役割を果たすのかを議論するとともに、次代を担う若い研究者の皆様が新たなテーマを発見できる場とすることを目指しました。早稲田大学下川哲先生による特別講演「経済学から読み解く「食」と未来社会」では、農業経済学と疫学の融合の視点から講演いただき、皆様から多くの絶賛をいただきました。メインシンポジウム「未来社会と疫学」をはじめとする7つのシンポジウムでは、最新かつ重要なテーマの発表が行われ、熱い議論が交わされました。

一般演題は361題の発表が行われました。ポスター会場を広く取りましたので、ポスター前で多数の方がゆっくり議論するのを見て嬉しく思いました。初日のプレセミナーは4プログラム開催し、合計で延べ2833人が登録されてオンデマンドも含めて視聴され、大人気となりました。企画の皆様に感謝申し上げます。

5年ぶりに普通の立食形式で開催した懇親会にもたくさんの皆様にご参加いただき、近江の地酒も楽しんでいただきました。

ご尽力いただいた各方面の関係者の皆様、多数ご参加いただいた日本疫学会会員の皆様に、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。



第 29 回日本災害医学会総会・学術集会のご報告



第 29 回日本災害医学会 総会・学術集会 会長
京都第一赤十字病院救命救急センター長
高階 謙一郎

去る 2 月 22 日～24 日に第 29 回日本災害医学会総会・学術集会を京都市のみやこめっせにて開催させていただきました。学術集会直前の 1 月 1 日に発生した令和 6 年能登半島地震への影響により一時開催が危ぶまれましたが、無事開催することができました。災害医学の対象は幅広く、超急性期から復興期まで、災害拠点病院から避難所・在宅まで、サイバーセキュリティー、陸海空さらには土木工学など医療以外の分野の専門家の皆様にもご講演を賜り、今回のテーマ「叡智の結集～すべては被災者のために～」の通りさまざまな災害関係者に結集していただきました。演題数は主題演題も含め 1000 を超え、参加者も 3100 名以上スタッフを含め 3400 名の方々にご参加いただき盛会のうちに幕を閉じました。ご多忙にもかかわらずご参加いただいた皆様に心より御礼申し上げます。まさに災害対応中の学会であったことから緊急報告「能登半島地震」のセッションでは石川県医師会会長をはじめとして各機関の皆様から web にてご講演を賜り、夜 8 時においても 1000 名以上が会場で熱心に聴いている状況でした。会場には被災地より直接駆けつけていただいた方、学会終了後そのまま被災地に向かわれる方もおり、活動服での参加もいるやや不思議な光景でした。

また、大会中は妙心寺退蔵院副住職の講演、表千家宗匠による茶道体験等もあり、京都らしい企画も楽しんでいただけたと思います。

社会医学系専門医に関連しては、指導医講習会をはじめ必須受講項目である「医療倫理」、「感染対策」、「医療安全」、「指導医講習会」に加えて K 単位対象の選択受講項目として多くのセッションを実施し、延べ 1600 人を超える受講をいただきました。災害医学に係る社会医学系人材の豊富さを実感しました。

本学術集会での講習会企画が、社会医学に係る皆様の研修に貢献できることを祈念して開催御礼の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

ご参加、ご協力いただいた全ての方々に感謝申し上げます。



第94回日本衛生学会学術総会のご報告



第94回日本衛生学会学術総会 学会長
鹿児島大学 衛生学・健康増進医学 教授
堀内 正久

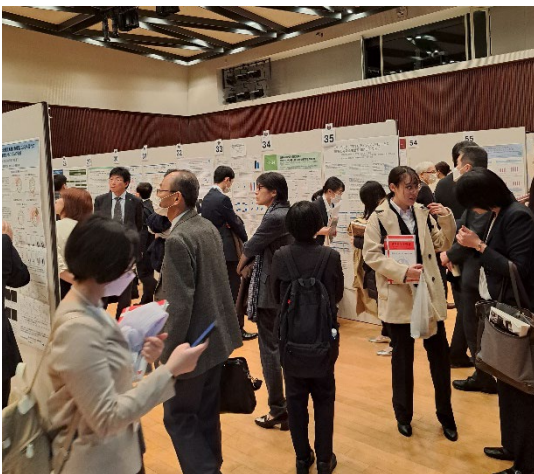
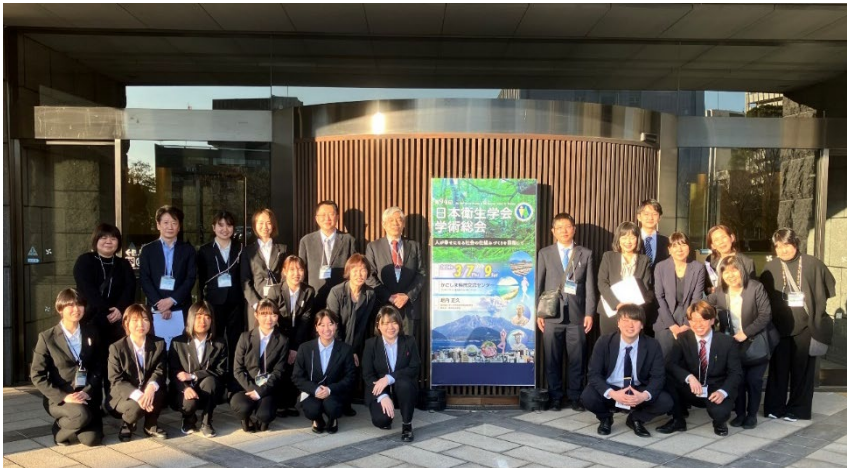
第94回日本衛生学会学術総会は、2024年3月7-9日に、鹿児島市の県民交流センターにおいて開催されました。本学会の歴史の中で、鹿児島県での開催は初めてであり、鹿児島県の学会関係者にとっては大変栄誉な機会となりました（写真）。

地方都市での開催という懸念もありましたが、700名を超える参加者数となり、274題（口演：104題、ポスター：170題）の一般口演と、6つのシンポジウム、5つの特定シンポジウム（公募や学会連携、教育シンポなど）、2つの教育講演と市民公開講座などが行われました。初日には、例年行われる若手研究者の会主催の企画もあり、初日から熱い議論が行われました。本学術総会では、若手の方の発表の機会を増やすということもあり、従来の演題登録料を廃止したり、ポスター発表でのコアタイム時間を設けたりしました。昨今では、ポスター発表においては、紙媒体のポスターではなく電子媒体のスライド利用が行われる傾向もあるかと思えます。ただ、「アナログ」な紙媒体のポスターを前に、活発な議論が行われた状況を見ると、対面型の学会においては、より直に接する機会を増やすことも大事ではないかと思うところがありました（写真）。

学会のテーマは、「人が幸せになる社会の仕組みづくりを目指して」ということでした。社会医学系の学会の目指すテーマではありますが、だからこそ、科学的な基盤が必要であり、実験的な研究の重要性についても、日本衛生学会の目指すべき1つの方向性と理解をしています。その方向性もあり、「実験研究と疫学研究の統合」というテーマでの公募シンポジウムや、日本衛生学会の将来ということで若手の方を発表者とする教育シンポジウムを開催しました。当該シンポジウムにおいて、活発な議論がなされたことは、とても、素晴らしいことだったと感じています。シンポジウムに参加された方々が、それぞれのお考えで、ご自身の社会医学での研究の手法や目的を考える機会になったのではと思います。

市民公開講座も最終日に開催され、「鹿児島の食」と「鹿児島の食」をテーマに、鹿児島のビタミン研究に寄与した2人の偉人である高木兼寛氏と丹下梅子氏について情報提供をするとともに、ビタミン豊富な鹿児島の食材について、鹿児島の若手女性栄養学研究者からご講演をいただきました。社会とつながるということも、社会医学系の学会としては必要なことであり、多くの市民、県民の参加をいただけたことはありがたかったと思っております（写真）。

次回の第95回大会は、大宮市において、亀井美登里先生（埼玉医科大学）のもと開催される予定です。より多くの方が参加され、社会医学における衛生学の位置づけを考え、社会に対して情報発信する機会になりますことを願っております。



学会開催のご案内

 第 97 回日本産業衛生学会 ホームページ <https://convention.jtbcom.co.jp/sanei97/index.html>

第97回 日本産業衛生学会 in HIROSHIMA



変革期における
 産業保健のアイデンティティ
 —サイエンスに基づく組織と労働者の両立支援—

会 期：2024年5月22日(水)～25日(土) ※5月26日(日)：産業医研修会実施予定

会 場：広島国際会議場・中国新聞ビル

企画運営委員長：真鍋 憲幸（三菱ケミカルグループ株式会社 人事本部全社統括産業医）

会 期	2024年5月22日(水)～25日(土)
会 場	広島国際会議場 〒730-0811 広島市中区中島町 1-5(平和記念公園内) 中国新聞ビル(7F) 〒730-8677 広島市中央区土橋町 7-1
テーマ	変革期における 産業保健のアイデンティティ —サイエンスに基づく組織と労働者の両立支援—
企画運営委員長	真鍋 憲幸(三菱ケミカルグループ株式会社 人事本部全社統括産業医)
学会事務局	日本産業衛生学会中国地方会事務局 〒700-8558 岡山市北区鹿田町 2-5-1(岡山大学医学部公衆衛生学教室内)
運営事務局	株式会社 JTB コミュニケーションデザイン 事業共創部 コンベンション第二事業局 〒541-0056 大阪市中央区久太郎町 2-1-25 JTBビル 8階 TEL: 06-4964-8869 E-mail: sanei97@jtbcom.co.jp

第 28 回日本医療情報学会春季学術大会 (シンポジウム 2024) ホームページ <https://jami2024symp.net/>

第28回
日本医療情報学会
春季学術大会
シンポジウム2024 inちば

情報をつなぐ
~ゲノムから社会まで~

28th JAMI 2024 CHIBA

全期
2024
6/13(木) 6/15(土)

会場
かずさアカデミアホール
千葉県木更津市

大会長
鈴木 隆弘
千葉大学医学部附属病院 企画情報部

プログラム委員長
鳥飼 幸太
(千葉大学医学部附属病院 システム統合センター)

実行委員長
土井 俊祐
(千葉大学医学部附属病院 総務課企画課)

千葉大学病院
Chiba University Hospital

清聴募集期間
12/1~1/31(予定)

株式会社 JTB コミュニケーションデザイン 事業共創部 コンベンション第二事業局
〒105-8335 東京都港区芝 3-23-1 セレスティン芝三井ビルディング12階
E-mail: jcmi2024@jtbcom.co.jp

千葉大学医学部附属病院 企画情報部 〒260-8677 千葉市中央区亥鼻 1-8-1
TEL: 043-226-2346 FAX: 043-226-2373

千葉大学医学部附属病院 総務課企画課 〒260-8677 千葉市中央区亥鼻 1-8-1
TEL: 043-226-2346 FAX: 043-226-2373

<https://jami2024symp.net/>

会 期 2024年6月13日(木)~15日(土)

会 場 かずさアカデミアパーク
〒292-0818 千葉県木更津市かずさ鎌足 2-3-9

テーマ 情報をつなぐ ~ゲノムから社会まで~

大会長 鈴木 隆弘(千葉大学医学部附属病院企画情報部)

大会事務局 千葉大学医学部附属病院 企画情報部
〒260-8677 千葉市中央区亥鼻 1-8-1 TEL:043-226-2346 FAX:043-226-2373

運営事務局 株式会社 JTB コミュニケーションデザイン 事業共創部 コンベンション第二事業局
〒105-8335 東京都港区芝 3-23-1 セレスティン芝三井ビルディング 12 階
〒541-0056 大阪府大阪市中央区久太郎町 2-1-25 JTB ビル 8 階
E-mail:jcmi2024@jtbcom.co.jp

ACP Japan Chapter 年次総会・講演会 合同シンポジウムについて

米国内科学会日本部会 American College of Physicians (ACP), Japan Chapter (2024 (令和6) 年6月22日(土)～6月23日(土))において下記のとおり、合同シンポジストとして今中雄一先生が登壇いたします。皆様、ぜひご参加ください。

ACP Japan Chapter シンポジウム

ランチョンシンポジウム概要：

日 時：2024年6月23日 (日) 12:40～13:40

場 所：国際医療福祉大学 赤坂キャンパス

URL：<https://www.acpijapan.org/acp2024/>

テーマ：臨床研究論文をいかに Publish するか：公衆衛生との知の融合

How to Publish Clinical Research Papers: Fusion with Public Health Academia

座長 (敬称略)：

今中雄一 (社会医学系専門医協会理事長、京都大学)

和田裕雄 (社会医学系専門医協会理事、順天堂大学)

シンポジスト (敬称略)：

今中雄一 (社会医学系専門医協会理事長、京都大学)

山本洋介 (京都大学)

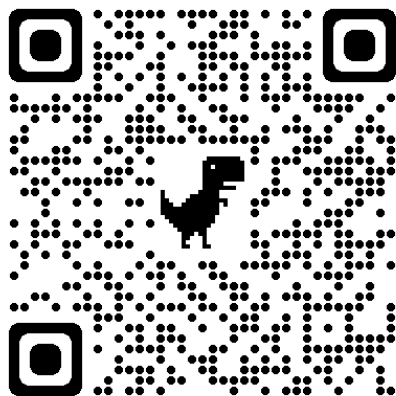
筒泉 貴彦 (高槻病院)

矢野 (五味) 晴美 (ACP 日本支部長・国際医療福祉大学)

総合討論

URL および QR コード

ACP (米国内科学会) 日本支部 年次総会・講演会 2024 ([acpijapan.org](https://www.acpijapan.org))



事務局からのお知らせ

【登録情報の変更、請求書再送、領収書発行のご依頼について】

所属先のご異動・お住いのお引越し・メールアドレスの変更等がございましたら、社会医学系専門医協会事務局まで登録内容変更届をご提出ください。

登録内容変更届のダウンロードは下記 URL から

<http://shakai-senmon-i.umin.jp/specialist/memberpage/>

年間登録料領収書の発行をご希望の際は下記記載事項をご記載の上、ご自身にてご作成の上、「切手貼付の返信用封筒」を同封の上、事務局までお送りください。

押印の上、ご返送させていただきます。

【記載事項】

- ・ 会員様のお名前
- ・ 会員番号
- ・ お支払いいただいた金額
- ・ 何年度分の年会費

※年間登録料につきましては不課税となっております。

※請求書：お送りしております払込票付請求書とは別の請求書（所定のもの、口座記載のもの、公印押印済のもの等）が必要な場合は上記内容をご記載の上、ご依頼ください。

【変更届送付先・請求書、領収書発行依頼先】

社会医学系専門医協会 事務局

E-mail : jbphsm@asas-mail.jp

FAX : 03-5981-6012